

京都薬大

プログラム1期生修了

認定薬剤師へ技能学ぶ

京都薬科大学は14日、専門・認定薬剤師資格の取得を支援する「レーマンプログラム」を受講した第1期生の修了式を開いた。初年度は資格要件の基本となる

症例報告書の作成技能を教えるコースを開講。受講者12人に履修証明書を交付した。

大学内で開いた修了式で、後藤直正学長は「コースの目的の一つは専門・認定薬剤師資格の取得に必要な症例報告書を作成することだが、今回をきっかけに日々の業務での気づきを次の二つ目、三つ目の症例報告書につなげてもらえるよう期待している」と述べ、「プログラム修了を第一歩にさらに上を目指して、薬剤師の姿を社会に示してほしい」とエールを送った。京都薬大は昨年、専門・

認定の資格取得を支援する社会人向け教育プログラムを開設した。発展編の「研究計画・実践コース」「論文作成コース」の開講も検討を進めている。